

「変形性膝関節症」

膝の痛みの原因や症状についてお教えください。

中高年の場合、年齢によるものや肥満、過去の外傷などが原因となり、「立ち上がる時に膝が痛い」、進行すると「長く歩くと痛みが増す」という症状が現れる変形性膝関節症が主な疾患です。しかしそれ以外に、膝関節の中でクッションの役割を果たす半月板の損傷も考えられます。変形性膝関節症の進行過程で、ちよっとしたことで半月板が擦り切れることがあり、それを見逃されて変形性膝関節症がかなり進行してしまうことがあるので注意が必要です。

変形性膝関節症の受診のタイミングや治療法についてお教えください。

膝の痛みがすぐ良くならず、痛みが続いたり繰り返したりするようであれば、早めに整形外科を受診することをお勧めします。変形性膝関節症と診断された場合は、一般的には、保存療法から開始します。代表的な保存療法は、痛み止めや湿布の使用、ヒアルロン酸の関節内注射、患者さんの状態にあわせた筋力トレーニングやストレッチなどを組合せた治療を行います。

しかし、保存療法は変形を治す治療ではなく、あくまで痛

みを抑えることを目的にした対処療法なので、変形が少しずつ進行していくことがあります。最近では、痛みや炎症を抑える薬が増え、以前よりも効果的に使用できるようになっています。強い痛みを抑えようと、痛みを抑える効果が高い薬を使う場合、眠気やふらつき、といった強い副作用を伴うことがあります。そのため、保存療法を続けても膝の痛みが改善せず、そのような強い鎮痛剤を使わないといけない状態が続くようであれば、保存療法では効果が期待しにくいかもしれません。

保存療法を続けても効果を感じない場合、手術を考えたほうがよいのでしょうか。

変形性膝関節症は、ガンなどのように命にかかわる疾患ではないので、レントゲン上でいくら変形が進行しているからといってすぐに手術を受けないというわけではありません。しかし、変形が進んでいたり、あまり変形が進んでいないかたたりしても、保存療法に限界を感じるようであれば、別の治療を考えてみてよいと思います。



新倉敷メディカルスクエア

※webから予約可

新倉敷メディカルスクエアで検索

TEL.086-525-5001

〒713-8102 岡山県倉敷市玉島1719



- 【診療科】 内科・胃腸外科・肛門外科・整形外科・リハビリテーション科・皮膚科・泌尿器科
- 【医師】 院長 河合 知則/副院長 河合 毅・河合 亮
- 【休診】 木曜午後・日曜・祝日
※水曜の整形外科はリハビリのみ
- 【併設】 ケアハウス あいの泉・有料老人ホーム あいの泉特養 あいの泉・ショート併設 サービス付高齢者住宅・グループホーム あいの泉

